

## 事務事業評価における県民意見募集結果について

令和5年度事務事業評価における県民意見と令和6年度当初予算への反映状況は以下のとおり。

- 1 意見募集期間 令和5年8月23日（水）～令和5年9月22日（金）
- 2 意見提出状況 12件（3名）
- 3 提出状況

	部 局	事 業 名	意見数
1	みらい企画創造部	移住定住・人材確保戦略的展開事業費	5
2	みらい企画創造部	ロケ誘致促進事業費	1
3	みらい企画創造部	留学生受入拡大推進事業費	2
4	環境エネルギー部	カーボンニュートラル県民アクション推進事業費	3
5	健康福祉部	健康づくりウォーキング推進事業費	1
6	産業労働部	人材確保・生産性向上推進事業費	—
7	教育局	オリンピックメダリスト育成事業費	—

# 提出された主な意見の概要と所管部局の対応状況等

No	部局	事業名	事業概要	R5予算額(千円)		R6予算額(千円)		所管部局の対応	R6当初予算の内容 (見直しの内容)
				事業費	一財	事業費	一財		
1	企画	移住定住・人材確保戦略的展開事業費	①独自の移住セミナーの開催や全国規模の移住フェア等への出席 ②移住総合支援ガイドの作成や移住交流ポータルサイトの保守管理、YouTubeを活用した情報発信等 ③東京有楽町の東京交通会館8階にある「やまがたハッピーライフ情報センター」の管理運営経費 ④移住者に対する米・味噌・醤油の食の支援	19,454	12,254	46,759	46,759	○移住を検討するにあたっては、現地での生活を実際に体験することが重要であることから、引き続き市町村と連携しながら移住体験事業を展開していく。 ○インターネットやSNS、メディアを活用して、地方への移住に関心がある20～40歳代の若い世代に対して重点的に情報を発信していく。 ○事業実施にあたっては、ノウハウを持つ民間事業者を活用しながら、費用対効果が最も高くなるような手法で実施していく。	○交通費の助成により軽負担で山形暮らしが体験できる事業を実施。（「やまがた魅力体感関係人口創出事業費」にて実施） ○山形の魅力を多くの移住検討者に伝えるため、移住交流ポータルサイトのリニューアルやインターネット等を活用した広告事業を実施。 ○首都圏における移住相談窓口と就職相談窓口の窓口機能を統合した新たな相談窓口を設置し、移住・就職に関する相談・情報発信をワンストップで行う体制を強化。
2	企画	ロケ誘致促進事業費	本県の知名度向上や観光誘客を図るため、国内外の映画やテレビドラマ等の県内ロケに要する経費を支援	10,000	5,000	0	0	○事務事業評価部会の御意見を踏まえ、令和5年度をもって本事業を廃止する。	-
3	企画	留学生受入拡大推進事業費	本県に就職する意思があり、県内企業に就職活動等を行う留学生に対し、給付型の奨学金を支給	10,869	10,869	10,869	10,869	○学校法人山本学園が運営する専門学校の山形V.カレッジが外国人留学生を対象とした日本語学科を令和6年4月に開設すると発表しており、本県留学生の増加に寄与するものと期待している。 ○対象となる留学生は、全て県内企業への就職に向けた活動を行っている。本奨学金は、県内企業への就職に向けて活動する留学生を支援するという目的の奨学金であり、本県の高等教育機関への留学のインセンティブともなっている。本奨学金の今後については、いただいた御意見も参考にしながら、検討してまいりたい。	○現行の制度を継続しつつ、県内就職者の割合が増えるよう、産学官で構成する「やまがたグローバル人材育成コンソーシアム」との連携を強化していく。
4	環エネ	カーボンニュートラル県民アクション推進事業費	省エネ効果の高い家電製品への買換えを促すため、参加賞や商品が当たる「省エネ家電買換えキャンペーン」を実施するもの	8,558	0	0	0	○2030年度までに温室効果ガス50%削減、2050年度までに100%削減を目標としている。分野ごとの目標設定は行っていない。 ○「ゼロカーボンやまがた2050」の達成に向けて、県民の主体的な取組みを後押しするカーボンニュートラルやまがた県民運動を展開しており、引き続き、県民運動の構成団体である市町村や関係団体と連携し、県民運動推進大会の開催等による普及啓発に努める。	-
5	健福	健康づくりウォーキング推進事業費	①コロナに負けない身体づくりのためのウォーキング大会の開催に要する経費 ②県内事業所におけるウォーキング事業の実施に要する経費に対する補助（万歩計の購入費補助等）	11,860	5,930	11,465	5,930	○県民一人ひとりが「歩く習慣」を身につけるため、アプリを活用したウォーキングWeb大会や市町村と連携した取組み（イベントカレンダー、スタンプラリー）を、歩きやすい季節である春から秋にかけて実施する。また、現在、各市町村のおすすめウォーキングマップも県ホームページ上で公開しており、ウォーキングを日常に取り入れるきっかけとなるよう、市町村と連携を図りながら取り組んでいく。 ○地域でウォーキングを推進する人材を育成するため「歩き方教室」を開催し、正しい歩き方のアドバイスに加えて、日常にウォーキングを取り入れ継続することが、健康につながることを普及啓発していく。 ○各市町村で既に作成しているウォーキングマップを活用してまいりたい。	○アプリを活用したウォーキングWEB大会及び市町村と連携した取組み（イベントカレンダー、スタンプラリー）について、引き続き実施し、県民の歩く習慣の定着を図っていく。 ○歩き方教室を開催し、地域でウォーキングを推進する人材を育成する。参加後に職場や地域の方にウォーキングの重要性や継続することのメリットを普及してもらい、県内全域でのウォーキングの推進につなげていく。 ○各市町村のウォーキングマップを県特設HPにリンクし、身近な場所でのウォーキングの継続を啓発していく。